

平成30年度 第2回道の駅「北条公園」運営連絡協議会

日 時：平成31年1月15日（火）19：00～21：40

場 所：北栄町中央公民館 2階大研修室

1. 議事概要

(1) 開会

(2) あいさつ 手嶋委員（副町長） 委員の皆様のご意見をいただき、よりよい会としたい。

(3) 自己紹介 各委員・事務局

(4) 役員選出

会長：柿本一夫委員（田井自治会）、副会長：北野勝宏委員（北栄町商工会）に決定した。

(5) 経過報告

資料1について説明した。

(6) 平成30年7月県推進部会について（報告）

資料2について説明した。

(7) 道の駅「北条公園」再整備対象エリアについて（協議）

町の財政状況を踏まえ、必要な機能・規模を再検討し、町の案を提示した。（資料3）

委員の意見を受けて再度、町で検討し、議会に諮った内容を第3回連絡協議会で協議する。

(8) 周辺道の駅の聞き取り調査について（報告）

・道の駅「大栄」 ・道の駅「北条公園」 ・道の駅「はわい」

ヒアリングの概要について説明した。施設の老朽化、看板等の共通の課題を認識し、

周辺観光施設等と連携し、山陰道から降りていただける特色ある道の駅・地域情報発信

拠点へつなげる必要性を確認した。

(9) 視察について

・道の駅「たかの」（広島県）他の広島県北部を視察する計画とした。

(10) 農業者向けアンケートについて

・1月、2月に農業者の集まる部会あり。会合でのアンケート依頼とともに、HP、全戸放送、TCCで広報する。

(11) 今後のスケジュールについて

H31.3月まで 第3回運営連絡協議会、基本計画策定

H31.4月以降 基本設計・測量、運営連絡協議会、「道の駅」推進部会

(12) その他

(13) 閉会

2. 意見要旨

(1) 道の駅「北条公園」再整備対象エリアについて

【道の駅全体（南北エリア）に関する意見】

◇道の駅「北条公園」を目的地化するためには、ある程度の施設規模が必要であり、ゾーニング計画案の施設のみでは、県外客の集客は現実的に困難と考える。また、目的地化を実現するため、道の駅全体をトータルでコーディネートできる人材の活用が不可欠である。

◇町の財政状況を考慮すると、あまり規模を大きくする必要はないと思う。よって、事務局が提示したゾ

ーニング計画案で良いと。また、これに周辺農地の活用、食の開発等を付加していけば魅力的な道の駅になる。

- ◇山陰道の高架下空間を上手く活用する必要がある。
- ◇バイオマス等を活用した環境にやさしい施設整備に取り組む必要がある。
- ◇少子高齢化の現状を踏まえると、子どもや女性のみならず、シニア世代もターゲットにした方が良い。
- ◇バーコードの読み取りによる情報提供など、ICTやIoTを活用した施設整備が望まれる。
- ◇ふるさと納税の産品を道の駅で直接食べられるようにすれば、将来的に町の収入アップにつながる。
- ◇再整備にあたっては、北エリアと南エリアの行き来（動線）についても配慮しておく必要がある。

【南エリアに関する意見】

- ◇授乳室やトイレは、屋内遊具(キッズスペース)に近接した位置に配置すべきである。一方、ドライバーがゆったりとリラックスできるよう、休憩スペースはある程度離れた方が良い。
- ◇北栄町特産のイチゴやブドウを活用した店舗を設けてほしい。
- ◇道路利用者は、ある程度規模の大きな道の駅に立ち寄る傾向にある。このため、現状の計画区域を東西方向に拡張し、その中に多数のテナント店を設置すれば、賑やかな道の駅になる。
- ◇ブドウ畑の観光農園化など、周辺の既存農地を上手く活用すべきである。
- ◇: **コンビニエンスストア** を誘致すれば、集客性が大幅に高まる。
(コンビニエンスストアがあれば、キャンプ場利用者が必要とする日曜雑貨や、子どもが怪我をした際の救急用品等が手軽に入手できる。)
- ◇駐車場～店舗間を楽しく歩けるような工夫が必要である(例: コナン像の設置、花壇の設置など)。
- ◇イルミネーションを設置し、夜間景観を演出してみてもどうか。
- ◇屋内遊具は子ども達に人気の施設であるが、子どもの数は年々減っている。このため、幅広い年齢層が楽しめるよう、インスタ映えする遊具や、トリックアート等を設置してみてもどうか。
- ◇道の駅には、地域の観光やサービス案内を行う「案内人」を常駐させる必要がある。
- ◇ブドウ、ラッキョウ、長いも等の地域資源を季節ごとに活用すれば、リピーター客の増加が見込める。
- ◇芝生広場にイベントスペースがあれば、特産物料理体験、マルシェなどの多目的な利用が可能になる。

【北エリアに関する意見】

- ◇美しい海浜景観の活用により、多様なアウトドア体験が可能となる。
- ◇有料施設(例: こどもの国のような遊具)を設置し、町に金が落ちるような仕組みを構築すべき。
- ◇当該地が「日本の白砂青松百選」に選定されるよう取り組んでいくべき。
- ◇町内宿泊者の利便性向上のため、バンガローの増設を望む。また、ツーリング客の利用も踏まえ、道の駅内にバイクショップ(バイクのメンテナンスが可能なショップ)を併設すれば、ライダー達の宿泊・立寄り拠点にもなる。
- ◇場内にアスレチック遊具があれば、大人がテントを張っている最中でも、子ども達が自由気ままに遊ぶことができる。

(2) 視察について

- ◇道の駅「北条公園」と同等規模の事例を視察先として選定すべきである。また、立地条件については山間部よりも海浜部に位置する道の駅の方が良い。
- ◇集客性の低い道の駅の視察についても、その理由や状況を把握する上で有効である。

(3) 農業者向けアンケートについて

◇問10 (道の駅「北条公園」への農産物出荷) で「はい」と回答した方の理由についても聞き取りするのが望ましい。

◇問13 葉物野菜の需要が高いことから、商品の保管方法の工夫を追記したほうがよい。

●その他 会議の資料等については別添のとおり。

以上

平成 30 年度

第 2 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会

日 時 平成 31 年 1 月 15 日(火)
午後 7 時～
会 場 北栄町中央公民館
2 階大研修室
(北栄町土下 112 番地)

【 日 程 】

1 開会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 役員選出

運営連絡協議会設置要綱第 4 条:会長及び副会長は、委員の互選により定める。

会 長 _____

副会長 _____

5 経過報告

6 平成 30 年 7 月県推進部会について (報告)

7 道の駅「北条公園」再整備対象エリアについて(協議)

8 周辺道の駅の聞き取り調査について（報告）

・道の駅「大栄」 ・道の駅「北条公園」 ・道の駅「はわい」

9 視察について

・視察先：道の駅 たかの（広島県）他（案）

10 農業者向けアンケートについて

・1月、2月に部会あり。HP、全戸放送、TCCで広報する。

11 今後のスケジュールについて

H31.3月まで 第3回運営連絡協議会、基本計画策定

H31.4月以降 基本設計・測量、運営連絡協議会、「道の駅」推進部会

12 その他

13 閉会

道の駅「北条公園」運営連絡協議会 委員名簿

氏名	関係機関等	備考
柿本 一夫	田井自治会	
加藤 武治	大野自治会	
濱本 喜彦	弓原浜自治会	
三好 秀康	北栄町観光協会	
北野 勝宏	北栄町商工会	
景山 浩孝	国土交通省 中国地方整備局 倉吉河川国道事務所	
日置 健生	北栄町認定農業者協議会	
竹原 光余	公募委員	
徳田 恵理子	公募委員	
岡田 綾	北条小学校 PTA	
手嶋 俊樹	北栄町副町長	

事務局

氏名	所属・職名	備考
澁谷 潤	地方創生監	
手嶋 寿征	北栄町産業振興課 課長	
清水 直樹	北栄町産業振興課 農商工推進室 室長	
松原 丈久	北栄町産業振興課 農商工推進室 主幹	
阪本 知春	北栄町産業振興課 農商工推進室 主事	
吉岡 正雄	北栄町地域整備課 課長	
松本 裕実	北栄町観光交流課 課長	
下阪 啓二	北栄町農業委員会事務局 局長	

経過

平成 27 年度

- ・ 3 月 道の駅「北条公園」運営連絡協議会設立準備会開催

平成 28 年度

- ・ 8 月 第 1 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
- ・ 1 月 第 2 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
- ・ 2 月 山陰道「北条道路」(はわい IC～大栄東伯 IC 間)都市計画決定

平成 29 年度

- ・ 4 月 道の駅「北条公園」再整備に係る土地所有者説明会
道の駅「北条公園」再整備に係る基本構想策定業務委託契約締結
- ・ 8 月 (株)PLANT 出店断念意向表明
道の駅「北条公園」再整備に係る基本構想再検討
- ・ 12 月 平成 29 年度第 1 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
道の駅「北条公園」再整備に係る土地所有者説明会開催
- ・ 3 月 平成 29 年度第 2 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催

平成 30 年度

- ・ 6 月 平成 30 年度第 1 回道の駅「北条公園」運営連絡協議会開催
 - ・ 7 月 平成 30 年度第 1 回鳥取県幹線道路協議会「道の駅」推進部会
 - ・ 8 月 道の駅「北条公園」再整備事業基本計画策定業務委託契約締結
 - ・ 10 月 周辺道の駅聞き取り調査
北栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂
 - ・ 12 月 北栄町まちづくりビジョンの改訂
-

北栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略

H30. 10月改訂

2章総合戦略 4項 働きやすいまちづくりの推進

③商業活性化の推進

商業機能の充実、住民の生活を支えるとともに、来訪者の増加、特産品の販売促進、商品の開発と雇用の創出による産業の振興につながります。

商工会と連携し、店舗、飲食店や小売事業者に対する支援を行い、商業活性化を促進します。新たな商業拠点をつくることで、交流人口の増加を図り、空き店舗の有効活用と事業継承を支援し、歩行者の増加と既存の商店街への賑わいの創出を図ります。また、本町の2つの道の駅を拠点に、町外からの入込客と町民がともに作り上げる地域内循環および地域内交流による地域活性化を実現し、活力ある商業圏の形成を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (H31)	基準値 (H26実績)
飲食物販施設の店舗数に不満を感じる方の割合 ※観光施設アンケート	13%	20%

《具体的な事業》

- ・地域商業自立促進事業（事業主体：北栄町商工会）
- ・道の駅再整備事業

3 観光の振興

《基本的方向》

- 恵まれた自然環境や本町ならではの施設を活かし、本町の観光資源の魅力を多くの方に知ってもらい、その魅力をさらに高めることで特色ある観光振興を図り、交流人口を増加させ、賑わいと活力を創出します。
- 本町の2つの道の駅を、周辺地域を結ぶ観光・周遊ルート等の観光情報を発信する広域交流拠点として位置づけ、町内観光の周遊性の向上や観光客滞在時間の延伸を図ります。
- 鳥取県中部エリアへの誘客を推進する広域観光組織(日本版DMO)を整備し、中部圏域の魅力を活かした周遊性のある取り組み及びインバウンドへの取り組み等を支援することにより、鳥取県中部圏域への観光誘客を促進します。

数値目標	目標値 (H31)	基準値 (H26実績)
青山剛昌ふるさと館入館者数	130,000 人/年	80,241 人/年
北栄町観光入込客数※	642,000 人/年	679,000 人/年

第4章

4. 町土のグランドデザイン

山陰道がJR山陰本線と並行し、鳥取米子間がおおむね1時間で結ばれるその中間点にあり、東西の広域交流軸を形成しています。

また、北条湯原道路が南北の広域交流軸を形成し、広域交流の拠点と位置づけられます。

さらに、広域交流軸と並行して東西に走る県道羽合東伯線、上井北条線等により広域交流軸を補完し、中部圏域内の市町を結ぶ地域交流軸として位置づけられており、これらを活かしたまちづくりに取り組みます。

①立地条件を活かした土地の利活用検討

広域交流軸の東西軸と南北軸が交差するエリアは、企業・商業施設の誘致を進めることで、商業の活性化と雇用を創出する産業振興拠点として位置づけられます。

また、道の駅周辺地域を結ぶ観光・周遊ルート等の観光情報を発信することで、広域交流の拠点として位置づけられます。

このほか、運転免許試験場跡地については、魅力ある「コナンの里づくり」を推進するための利活用を検討します。

②砂丘地の利活用検討

道の駅北条公園周辺エリアを含めた海岸部の砂丘地は、町の重要な資源であり、自然環境の保全に努めるとともに、砂丘地農業の将来像とあわせ、魅力ある景観を形成するような利活用を検討します。

6章 施策の基本方向

【施策の内容】

(1) 企業誘致の推進

・県及び他市町とも連携して企業誘致に取り組み、商工業の活性化を目指します。

(2) 町内企業との連携強化

・町内企業と連携を強化するとともに必要な支援を行います。また、北栄町産業振興奨励金制度*1の利用促進を図ります。

(3) 商業活性化の推進

・商工会と連携し、店舗、飲食店や小売事業者に対する支援を行います。
・新たな商業拠点を つくることで、交流人口の増加を図り、空き店舗の有効活用と事業継承を支援し、歩行者の増加と既存の商店街への賑わいの創出を図ります。
・本町の2つの道の駅を拠点に、町外からの入込客と町民がともに作り上げる地域内循環及び地域内交流による地域活性化を実現し、活力ある商業圏の形成を図ります。

道の駅「北条公園」再整備について（案）

道の駅「北条公園」の現状



〔特産物販売店〕



〔屋内体育福祉施設「希望の館」〕

〔概要〕

名称：道の駅 北条公園
 所在地：北条町国坂1525番地92
 立地：国道9号「北条道路」及び国道313号「北条湯原道路」という東西南北軸の交通結節点に位置し、国道9号を挟んで南北に施設を配置

登録日：平成5年11月24日
 追加登録日：平成12年8月18日（北側施設追加）
 （ドライバーの憩いの場及び情報交換の場を目的とした追加）
 ※平成12年度 冬の円滑なチェーン装着を行う駐車場を整備

構成施設：

（北部）飲食店（うどん屋、焼肉屋、ジェラート店）、直売所、オートキャンプ場、トイレ
 （南部）飲食店（定食屋）、直売所、コミュニティ施設、大規模駐車場、トイレ

入込客数：（北・南）

（平成9年）	-	※道の駅「犬狹」オープン
（平成15年）	-	※道の駅「はわい」オープン
（平成17年）	86,334人	※北条町誕生
（平成23年）	39,133人	※琴浦PAオープン
（平成27年）	44,719人	
（平成29年）	38,692人	※道の駅「琴の浦」オープン

持続可能な道の駅の実現

道の駅「北条公園」：高規格道路（山陰道）の整備をきっかけとした“ひと”・“モノ”・“情報”の流れに応じた町内外からの入込みを充実。道の駅を起点とした入込客の地域内循環、地域内交流の実現

道の駅と周辺地域の課題

〔道の駅〕

- ・山陰道（自専道）整備に伴う、立寄率の減少を懸念
- ・施設老朽化、近隣道の駅オープン等に伴う、入込客数の減少
- ・限られた物販であることに伴う、滞在時間の減少
- ・頻発する自然災害に伴う、道路・地域情報発信能力の不足

〔周辺地域〕

- ・砂丘地の基幹産業である農業の衰退
 農家数：1,160戸 → 882戸（△24%）
 就農人口：2,559人 → 1,688人（△34%）
 就農者60歳以上構成比率
 北条地域71.9% → 82% 大栄地域60.6% → 69.1%
 ※平成17年 → 平成27年の数値
- ・子どもが遊べる施設の不足
- ・高齢者の買物困難
- ・大雪等山陰道閉鎖時の車両待機スペースの不足

再整備に期待する効果

- ・女性と子どもが楽しめる仕組み作りによる来場者数増
- ・オートキャンプ場など、個性を活用し、目的地となる施設の魅力向上
- ・既存の道の駅では扱っていない農産物、加工品等を扱うことによる入込客数増、消費額増
- ・国道313号「北条湯原道路」岡山方面からの利用者への情報・休憩施設の提供
- ・道の駅「大栄」と連携した周遊ルートの構築による地域全体での観光客の滞在時間の延長促進
- ・町外からの入込客と町民がともに作り上げる地域循環及び地域内交流による地域活性化の実現
- ・砂丘地農業の魅力伝え、農家のやりがいにつながる仕掛け作りと付加価値の向上による砂丘地農業振興の実現
- ・国道9号「北条道路」・国道313号「北条湯原道路」の交通結節点における効果的な情報発信の実現（地域・道路情報）
- ・国道9号及び国道313号（東西・南北軸）の交通結節点に位置する立地を最大限に活用した災害時の防災拠点整備による迅速かつ的確な安全性確保の実現（雪害・風水害・事故等による交通規制時の車両待機スペースを確保することにより、迅速かつスムーズな初動体制の確立及び利用者誘導を実現）

目的・コンセプト・テーマ

【目的（まちづくりビジョン（げんきなまちづくり）を実現すること）】北条砂丘（砂丘地農業と自然環境）から北条町を『元気』にすること
 【コンセプト（目的を達成するために施設が担う役割）】地域に愛され北条砂丘の魅力に満ちた交流拠点
 【テーマ（再整備全体で一貫して表現すること）】北条砂丘のめぐみ

北条町の『元気』とは

- ・農産物及び加工品生産者の生産・販売に対する意欲が高まり、消費者が積極的に購入したいと思える状態（北条町産農産物ファン創出）
- ・施設整備による観光客滞在時間の延伸に伴う、物理的・経済的な賑わいの創出が生まれる状態（アウトドア満喫、北条町産農産物の堪能）
 →経済的な賑わいの創出から、新たな企業進出が創出される状態

『北条砂丘のめぐみ』とは

現在の北条砂丘を構成する魅力的なもの自然、歴史、景観（※白砂青松）、農業、ひと等

北条砂丘の魅力に満ちた交流拠点とは（食・遊）

- 農業をしている方もこれからする方も「砂丘地農業がしたくなる」（食）-
 【要素】
 ・農産物を通じた生産者と消費者の繋がりが、生産者のモチベーションアップが可能（顔が見え、評価を聞ける仕組み作りによる自己研鑽・ファンの獲得を実現）
 ・ライフスタイルに合わせ、新しいことへの挑戦が可能（付加価値の創出による小ロットの農産物の栽培、ブランド化の実現）
 ・農産物の味覚を堪能・発信することが可能（応援団・リピーターの獲得を実現）
 ・農産物の高付加価値化による所得向上を実現（生産性向上、生産者の所得水準の引上げ）
 ・耕作放棄地減少を実現（新規就農者の増、耕作面積の維持・増加）等（農業のまち「北条町」の活性化、「北条町のめぐみ」が表現された農地が一面に広がる美しい景観の実現）
- 多様な「アウトドア体験がしたくなる」（遊）-
 【要素】
 ・多様なアウトドア体験が可能
 ・美しい海岸を活用した充実空間の実現が可能
 ・女性と子どもが、一日を通して楽しめる全天候型多目的広場の活用が可能
 ・白砂青松と北条砂丘を堪能できるバンガロー等、宿泊施設の使用が可能

道の駅「大栄」と「北条公園」の棲み分け・連携

〔棲み分け〕

道の駅「大栄」
 ○歴史・文化・観光を通じた交流拠点
 ・青山剛昌ふるさと館に隣接し、由良駅まで続くコナン通りの玄関口となるべく観光拠点
 ・由良台場に隣接する北条町の歴史・文化の発信拠点
 ・北条町の『黒ぼく農業』を町内・外へ発信する情報発信拠点

道の駅「北条公園」

○砂丘地農業・自然環境を通じた交流拠点
 ・町民の生活を育んできた北条砂丘に位置し、北条町の『砂丘地農業』を町内・外へ発信する情報発信拠点
 ・9基の風車、美しい白砂青松の景観を通じ、自然環境の素晴らしさを再認識する拠点
 ※立地条件を活かした情報発信・防災拠点

〔連携〕

- 道の駅「大栄・北条公園」の周遊性を実現
 ・道の駅「大栄」において、コナン通り、国史跡由良台場をはじめとする観光を楽しんだ後は、道の駅「北条公園」で農業のまち北条町の味覚を堪能。一日の終わりは、それぞれに合った宿泊の形でゆったりと北条町の日を満喫。朝晩は、一面に広がる白砂青松に癒されながら、一人ひとりの充実空間を堪能。
 ・2つの道の駅の強みを活かし、四季折々の北条町の町並みと恵を北条町農業の基盤である「砂丘地・黒ぼく畑・水田地帯」を通じて体験
- 道の駅「大栄・北条公園」の災害時連携強化を実現
 ・高規格道路閉鎖時における交通結節点を活かした、災害時地域内連携強化を実現

道の駅「北条公園」再整備について（案）整備イメージ

いまのすがた

1. 情報発信機能（限定的な情報の発信・沿線道の駅との競合）

- 交通情報：紙ベースを中心とした情報に限定され、リアルタイムな情報が得にくく、利用者が必要とする情報が不足
- 観光情報：広域観光ルートの結び付きが不十分であり、限られた情報の発信

2. 地域連携機能（選択肢の縮小・滞在時間の縮減・砂丘地農業の衰退）

- 買う：町内スーパーでの食材調達及び近隣市町村商業施設での日用品、医薬品等の購入（選択肢の不足による町外分散化傾向）
 - 遊ぶ：オートキャンプ場を中心としたアウトドア空間による遊びの提供（雨天・積雪時の利用者少数）
 - 食べる：特産ねばりっこを活用した定食及びうどん、ジェラートを中心に展開
- ※砂丘地農業の魅力の理解にまで至っていない

3. 休憩及び防災機能（休憩機能の不足・危機管理体制の不備）

- 休憩：コテージを利用した宿泊。大型・長距離トラックの長期滞在对し、一般車両の通り抜け増加
- 防災：防災機能を有していない



『道の駅「北条公園」を目的地化』

通過点となっている現在の道の駅を目的地化することにより、多くの人々が集い、賑わいが生まれ、砂丘地の活性化につながる交流拠点として再整備する。



事業スケジュール

- H30・・・基本計画
- H31・・・地形測量・基本設計
- H32～・・・実施設計・用地買収・建築解体工事・造成・建築工事

平成30年度スケジュール

施設の規模・配置・形態及び町道の線形を設定し、計画の概要を策定する。

再整備後のイメージ

◀ “ひと”・“モノ”・“情報”の流れが集中する結節点の活力

→ 地域活性化へ

1. 情報発信機能強化（効果的な情報の発信・沿線道の駅との連携/ハブ的役割）

- 交通情報：北条湯原道路と山陰道が結節する交差点の整備による道の駅周辺道路交通情報の発信
- 観光情報：本町及び県中部地域をはじめとした周辺地域を結ぶ観光ルート等観光情報の発信

2. 地域連携機能強化（選択肢の拡大・滞在時間の延伸・砂丘地農業の発展）

- 買う：近接地に進出予定である大型商業施設における地元産農産物・日用品のほか、キャンプ食材及び資材等の購入（1箇所ですべてが揃う）（ガソリンスタンド出店予定）
 - 遊ぶ：オートキャンプ場を中心としたアウトドア空間の充実による遊びの提供（ブラッシュアップ・グランピング、キャンプファイア機能の付加）誰もが楽しめる遊べる施設の整備（全天候型施設の整備）
 - 食べる：地元産農産物を中心としたレストラン等の展開
- ※砂丘地の恵みを実感→砂丘地農業の魅力を理解→移住定住の推進、若年層における地域の担い手育成

3. 休憩及び防災機能強化（休憩機能の充実・危機管理体制の充実）

- 休憩：白砂青松の砂丘地に風車が佇む絶好のロケーションに癒され、小休憩コテージを利用した宿泊
目的地化することによる滞在時間の延伸
- 防災：雪害・風水害等災害時におけるオートキャンプ場を活用した炊き出し・給水・テントの利用によるプライバシーに配慮した宿泊施設の提供
一時待機場所として必要とされるマンホールトイレ・給水施設の設置
災害物資の集積拠点となる備蓄倉庫を設置
集中除雪、交通事故等における車両待機スペースの確保による迅速な通行規制の解除及び災害時の速やかな道路交通の確保を実現



道の駅「北条公園」

周辺道の駅の聞き取り調査について（報告）

1) 調査時期 平成 30 年 10 月

2) 調査対象 ・道の駅「北条公園」

飲食 4 店舗 物販 2 店舗

・道の駅「大栄」

駅長 飲食 1 店舗 物販 1 店舗

・道の駅「はわい」

駅長 飲食 2 店舗・物販 4 店舗

3) 主な課題等

- ・施設の老朽化、適正な店舗面積
- ・冬場、平日、観光バスの来客対策
- ・競合施設の増加に伴う特色ある道の駅、店舗づくりの必要性
- ・看板、ホームページ、SNS 等の情報発信・PR の工夫
- ・周辺施設との連携

■農産物の生産と出荷に関するアンケート調査票

本アンケートは、道の駅「北条公園」の再整備の検討資料作成のために行うものであり、調査票は厳重に管理し、記入された方の不利益になるようなことは一切ありません。

御不明な点がございましたら、以下の担当までお尋ねください。

【お問い合わせ先】 北栄町 産業振興課 農商工推進室 担当：松原・阪本
(電話) 0858-37-3153

問1 あなたの性別をお答えください。[1つだけ○を付けてください。]

- ①男性 ②女性

問2 あなたの年齢をお答えください。[1つだけ○を付けてください。]

- ①20歳代以下 ②30歳代 ③40歳代 ④50歳代 ⑤60歳代 ⑥70歳代以上

問3 あなたの農家形態についてお答えください。[1つだけ○を付けてください。]

- ①専業農家 ②第1種兼業農家（農業以外の所得より、農業所得の方が多い）
③第2種兼業農家（農業所得より、農業以外の所得の方が多い）

問4 あなたを含む農業者・農業従事者の人数をお答えください。[1つだけ○を付けてください。]

- ①1人 ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5人以上

問5 あなたの主な営農類型についてお答えください。[代表的な項目を1つだけ選び、○を付けてください。「その他」を選択した場合は、括弧の中に具体的な内容をご記入ください。]

- ①水稲 ②露地野菜 ③水稲+露地野菜 ④施設野菜 ⑤水稲+施設野菜
⑥果樹 ⑦花き ⑧畜産 ⑨その他（ ）

問6 現在の農業所得で販売金額の多い順に3つまでお答えください。[枠の中に該当する番号をご記入ください。「その他」を選択した場合は、枠内に番号と具体的な内容をご記入ください。]

- ①水稲 ②露地野菜 ③施設野菜 ④果樹 ⑤花き（切り花・鉢・苗など）
⑥菌茸類 ⑦山菜類 ⑧農産加工品（漬物・ジャムなど） ⑨肉用牛 ⑩養鶏
⑪酪農 ⑫その他

1位	2位	3位
----	----	----

問7 農協（JA）への加入状況についてお答えください。[1つだけ○を付けてください。]

- ①正組合員 ②准組合員 ③加入していない

問8 あなたが農畜産物を出荷している施設についてお答えください。[該当するもの全てに○を付けてください。「その他」を選択した場合は、括弧の中に具体的な内容をご記入ください。]

- ①農協共販 ②農協直売所へ出荷 ③市場へ出荷 ④スーパー・小売店へ出荷
⑤道の駅へ出荷 ⑥その他（ ） ⑦販売していない

裏面に続きます →

問9 現在の農業出荷額（年間）をお答えください。[1つだけ○を付けてください。]

- ①50万円未満 ②50～100万円 ③100～200万円 ④200～300万円
⑤300～400万円 ⑥400～500万円 ⑦500～700万円 ⑧700～1,000万円
⑨1,000～2,000万円 ⑩2,000万円以上 ⑪出荷していない

問10 道の駅「北条公園」の再整備において、農産物直売所が新たに整備された場合、あなたは農産物を出荷したいと思いますか。[1つだけ○を付けてください。]

- ①はい ②いいえ

問11 問10で「はい」と答えた方にお聞きます。

道の駅「北条公園」に農産物直売所ができれば、1ヶ月間にどのくらい売上げたいですか。[1つだけ○を付けてください。]

- ①5万円以下 ②5万円～10万円 ③10万円～20万円 ④20万円～30万円
⑤30万円～50万円 ⑥50万円～100万円 ⑦100万円～200万円
⑧200万円～300万円 ⑨300万円以上

問12 問10で「いいえ」と答えた方にお聞きます。

出荷したいと思わない理由を教えてください。[該当するもの全てに○を付けてください。「その他」を選択した場合は、括弧の中に具体的な内容をご記入ください。]

- ①出荷できる農産物がない ②道の駅「北条公園」が遠い
③売れ残りが出る ④既に既存の販路を確立している
⑤品質管理が期待できない ⑥販売手数料をとられる
⑦収入が期待できない ⑧何が売れているかなどの情報が少ない
⑨バーコード入力が面倒 ⑩その他 ()

問13 道の駅「北条公園」の農産物直売所について、施設運営に関する要望や今後工夫すべき点をお聞かせください。[該当するもの全てに○を付けてください。「その他」を選択した場合は、括弧の中に具体的な内容をご記入ください。]

- ①売り場面積の拡大 ②商品陳列の工夫
③POPによる商品情報提供の工夫 ④営業時間の延長
⑤販売員の能力向上 ⑥ホームページによる情報の提供
⑦商品パンフレット・チラシの配布 ⑧試食・試飲の実施、実演販売
⑨新商品の企画・開発 ⑩通信販売の実施
⑪イベントの開催 ⑫ポイントカードの導入
⑬販売組織の工夫 ⑭その他 ()

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。なお、農産物の生産・出荷、道の駅「北条公園」の再整備等について、他にご意見がございましたら、以下の空欄にご自由にお書き下さい。